

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・パーティションを使用して工夫しているが、利用者数に対して部屋数が少ない。感覚過敏の利用児が落ち着ける工夫が必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・階段など段差もあるが、スロープの設備があるので、個別の状態に合わせて、設備面で不足なことについては安全面での工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者による評価は実施していないが、事業所契約のコンサルにアドバイスを頂いている。また、行政等からも意見を頂いている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・専門分野の研修のほか、法人内の階層別研修がある。児童分野に直接かかわる内容の研修へ参加する機会を増やしたい。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・アセスメント書式については未整備。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・日々のミーティングにて活動プログラムの見直し等をおこなっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・長期休暇時には、おやつ作りやプールなど、平日で行えない活動に取り組んでいる。平日利用時のプログラムについては様々な活動を催していく工夫が必要。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・平日、長期休暇時において、個々に合わせた作業課題等の見直し、工夫が必要。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別に活動を設定しているが、より工夫が必要。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・該当するケースなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・今年度は該当するケースなし。一律には行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・移行支援会議などの機会に情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・専門機関との連携はないが、契約のコンサルあり。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・町内学校の中学生福祉委員さんに行事参加してもらい、交流の機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・町内福祉事業所連絡会に参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・R5年9月に保護者会主催の保護者交流会開催。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナ禍のため地域住民の皆さんを招待する機会等はないが、地域のボランティアや行政機関に依頼し、行事などに協力いただいている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・事業所としてのマニュアルはあるが、保護者へわかりやすく情報提供する必要あり。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・水害、火災想定避難訓練を実施した。(年2回実施)
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・該当するケースなし。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者より、食物アレルギーの指示書をいただき、対応している。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事案が発生した場合には、職員間で共有を図り、防止策を考えている。